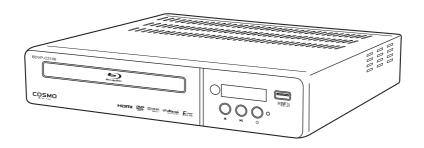
取扱説明書

コンパクトブルーレイプレーヤー

COSMO
Blu-ray

BDVP-C2106

お買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
本説明書は大切に保管し、必要な時に再度お読みください。
本製品のデザインおよび仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
本取扱説明書の内容は、予告なく変更することがあります。

目次

正しく安全にご使用いただくために

本製品を正しく安全にご使用いただくために、この章に記載されている注意事項を必ずお守りください。

＜安全に関わる表示＞

警告	この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。
注意	この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。

⚠ 警告	
禁止	**交流 100V 以外の電源で使用しない** 火災・感電の原因となります。
禁止	**不安定な場所や、振動する場所に置かない** 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
風呂、シャワーでの使用禁止	**風呂やシャワー室で使用しない** 火災・感電の原因となります。
指示	**電源プラグの端子についたほこりなどを定期的に取り除く** 火災・感電の原因となります。
ぬれた手禁止	**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない** 感電の原因となります。
水ぬれ禁止	**水が入るような使い方をしない、水をかけない** 火災・感電の原因となります。
禁止	**ディスクトレイなどから異物を入れない** 火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
水ぬれ禁止	**本機の上に花びんなど、液体の入った容器を置かない** 液体がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告	
接触禁止	**雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない** 感電の原因となります。
禁止	**AC 電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、加熱する、などをしない** コードが破損して、火災・感電の原因となります。
分解禁止	**分解や改造をしない** 内部には電圧の高い部分があるため感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**発煙、異臭、異音などが発生したときは、電源を切り、電源プラグを抜く** 火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**本機を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く** 火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**内部に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く** 火災・感電の原因となります。

⚠注意

タコ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを確実に差し込み、固定されていることを確認する

火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機を移動させるときは､接続されている配線などをすべて外す

配線が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際や、長期間使用しないときは、電源プラグを外す

火災・感電の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさいだり、壁ぎわにぴったりつけない

内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。

電源ケーブルを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶け、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところや密閉した箱などに入れない

内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
とくにお子様にはご注意ください。

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に､物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないよう注意する

けがの原因となることがあります。とくにお子様にはご注意ください。

破損、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

＜電池の取扱いについて＞

⚠警告

禁止

電池は乳幼児の手の届く所に置かない

電池を飲み込むと、窒息の恐れがあります。
また、消化器官内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。
⇒飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

禁止

電池が液漏れしたら素手でさわらない

漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。
⇒きれいな水で洗い、ただちに医師に相談してください。
皮膚に付着すると、炎症を起こす恐れがあります。
⇒炎症を起こした場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

禁止

電池を加熱したり、火の中に投入しない

電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

禁止

電池を分解しない

電池の発熱や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

指示

電池を正しい向きに入れる

電池の発熱や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池を使わない

電池の発熱や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

禁止

種類の異なる電池や、新旧の電池を混ぜて使わない

電池の発熱や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

指示

電池を使い切ったときや、長期間使わないときは電池を取り出す

電池の発熱や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

ディスクについて

対応ディスク

- 本製品で再生できるディスクは下記のとおりです。それ以外のディスクは再生できません。
- ディスクや記録の状態によっては、再生できない場合があります。

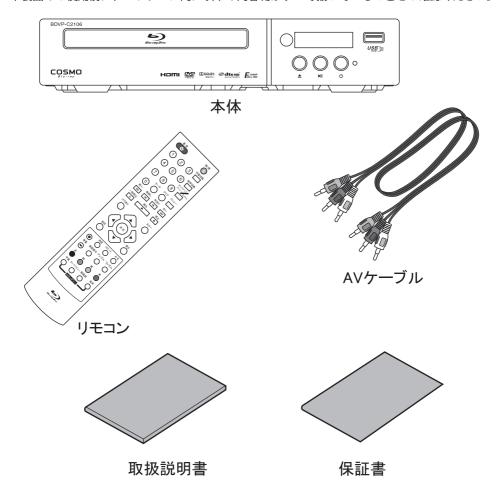
ディスクの種類		録画方式（フォーマット）
BD-Video BD ビデオ	リージョンコード Ⓐ または、「ALL Region(オールリージョン)」（Ⓐ を含む）のディスク	BDMV フォーマット
BD-RE	SL（1層）/ DL（2層） ※ 1	BDAV フォーマット
BD-R	SL（1層）/ DL（2層） ※ 1	BDAV フォーマット
DVD ビデオ	リージョンコード ALL または 2 のディスク	DVD-Video フォーマット
DVD-RW	DVD-R 、DVD-R DL（2層） ※1	DVD-VR フォーマット ※ 2 DVD-Video フォーマット ※ 2
DVD+RW、DVD+R、DVD+R DL（2層） ※1		DVD-Video フォーマット ※ 2
音楽用 CD		CD-DA フォーマット
CD-R	CD-RW	CD-DA フォーマット ※ 3 写真フォーマット 動画フォーマット

※ 1　片面 2 層ディスクは、読み込みに時間がかかる場合があります。
片面 2 層ディスクの再生時、最初の層から次の層に移る際に映像と音声に若干のゆがみが生じる場合がありますが、故障ではありません。

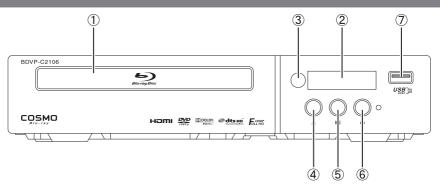
※ 2　地上デジタル放送などのデジタルコンテンツをメディアにコピーすることを一度だけ許可し、そのメディアから他の機器やメディアにコピーすることを禁じる著作権保護（コピーワンス）技術である CPRM 方式で録画した DVD ± R/RW が再生できます。
ファイナライズ処理していない DVD ± R/RW は再生できません。

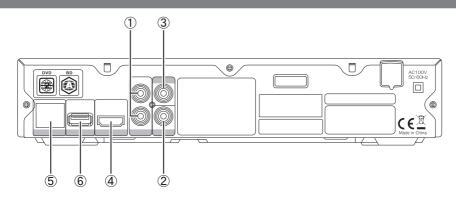
※ 3　700MB（80 分）の CD-R/RW をお使いください。800MB（90 分）以上のものは再生できない場合があります。
書き込み時にクローズセッションをしていないディスクは再生に時間がかかったり、再生できない場合があります。

同梱品

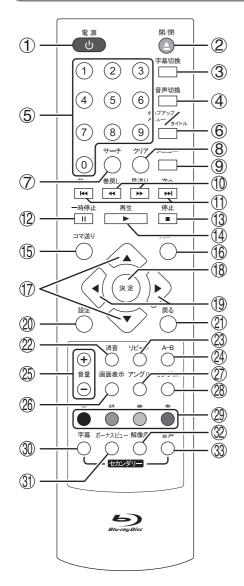
本製品のご使用前に、パッケージ内に以下の内容物がすべて揃っていることをご確認ください。

＊イラストは実物と異なる場合があります。
＊リモコン用単４形乾電池は同梱されておりません。別途ご用意ください。

各部の名称

本体前面

①	ディスクトレイ	再生するディスクをセットします。
②	表示部	情報が表示されます。
③	受光部	リモコンの操作信号を受信します。
④	開／閉ボタン	ディスクトレイを開閉します。
⑤	再生／一時停止ボタン	再生／一時停止します。
⑥	電源ボタン	電源をオン／オフします。
⑦	USB ポート (USB2.0)	USB メモリーを差し込みます。

本体背面

①	アナログ音声出力端子（左右）	アナログ音声信号を出力します。
②	デジタル音声出力端子（同軸）	デジタル音声信号を出力します。
③	アナログ映像出力端子	コンポジット映像信号を出力します。
④	HDMI 出力端子	HDMI 機器を接続します。
⑤	LAN ポート	ネットワークケーブルを接続します。
⑥	USB ポート（USB 2.0）	USB 機器を接続します。

リモコンについて

ボタンの説明

① 電源ボタン：

電源をオン・オフします。

＊電源オンから約 20 秒間は電源オフできません。

② 開／閉ボタン：

ディスクトレイを開閉します。

③ 字幕切換ボタン： 字幕切換

字幕を表示または非表示にします。2 言語以上の字幕がある場合は、表示言語を選択できます。

④ 音声切換ボタン： 音声切換

音声を切り替えます。複数の音声トラックがある場合は、音声トラックを選択できます。

⑤ 数字ボタン：（⓪〜⑨）

タイトル／チャプター（トラック）または時間を指定するとき使用します。

⑥ ポップアップメニュー／タイトルボタン： ポップアップメニュー／タイトル

ブルーレイディスクを再生中に、メインムービーメニューを表示します。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

⑦ サーチボタン： サーチ

タイトル、チャプター、時間、トラック、ファイルなどを数字ボタンで指定して、ジャンプします。

⑧ クリアボタン： クリア

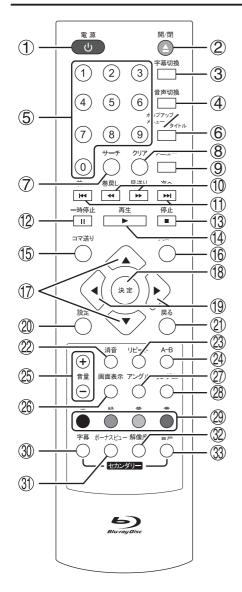
数字ボタンで入力した数値を消去します。

⑨ メニューボタン： メニュー

再生を一時停止し、ディスクのメインメニューまたはトップメニューを表示します。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

⑩ 巻戻しボタン: 巻戻し

早送りボタン: 早送り

再生中に巻戻し／早送りします。

⑪ 前へボタン： 前へ

次へボタン： 次へ

一つ前または次のタイトル、チャプター、トラック、ファイルを再生します。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

⑫ 一時停止ボタン： 一時停止

再生を一時停止します。

⑬ 停止ボタン： 停止

再生を停止します。

⑭ 再生ボタン： 再生

再生を開始または再開します。

⑮ コマ送りボタン： コマ送り

コマ送り再生します。

⑯ スローボタン： スロー

ボタンを押すたびに 1/2、1/4、1/8 のスピードでスロー再生します。

⑰ ▲ / ▼ボタン

メニューを移動します。

⑱ 決定ボタン： 決定

メニューを選択したり､設定内容を確定します。

⑲ ◀ / ▶ボタン

メニューの上層と下層を移動します。

⑳ 設定ボタン： 設定

設定メニューを表示します。再生中に押すと再生を停止して設定が表示されます。

㉑ 戻るボタン： 戻る

前のフォルダやメニューに戻ります。

㉒ 消音ボタン： 消音

消音します。もう一度押すと、音声が出力されます。

㉓ リピートボタン： リピート

リピート再生の方法を選択することができます。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉔ A-B ボタン： A–B

「開始点」と「最終点」を設定し、その区間でリピート再生できます。

再生中に A-B ボタンを押して、「開始点」を設定します。

再度 A-B ボタンを押すと「最終点」が設定され、設定した区間のリピート再生を開始します。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉕ 音量ボタン：（＋ / －）

音量を調節します。

㉖ 画面表示ボタン： 画面表示

現在の再生状況と時間を表示します。

㉗ アングルボタン： アングル

マルチアングルオプションのあるディスクを再生中にアングルを変えます。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉘ ランダムボタン： ランダム

音声ファイルのランダム再生を行います。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉙ カラーボタン：（ 赤 緑 黄 青 **）**

ディスクの特典を実行します。

実行できる特典は、再生中のディスクにより異なります。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉚ 字幕ボタン（セカンダリー）： 字幕

ディレクターコメントなどの二次字幕を表示します。また、複数言語の二次字幕がある場合、言語を選択できます。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉛ ボーナスビューボタン： ボーナスビュー

ディレクターコメントを表示/非表示させせます。

＊ボーナスビューを表示させるときは、あらかじめメインメニューでの設定が必要です。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

㉜ 解像度ボタン： 解像度

ディスク停止中に解像度を変更します。

㉝ 音声ボタン（セカンダリー）： 音声

複数言語のディレクターコメントがある場合、言語を選択できます。

（ディスクにより、利用できない場合があります。）

リモコンの使い方

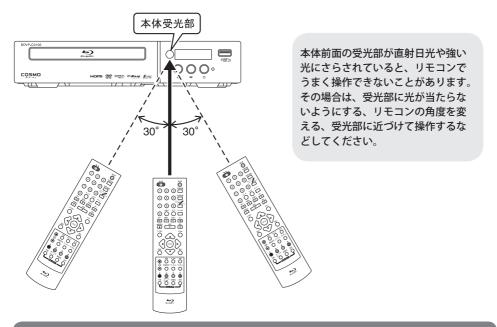
リモコンを使うときは、本体前面の受光部から約 5 m 以内の距離で、上下左右で各 30 度以内の範囲から操作してください。

リモコンの発信部と本体前面の受光部との間に、信号を遮るものがないようにしてください。

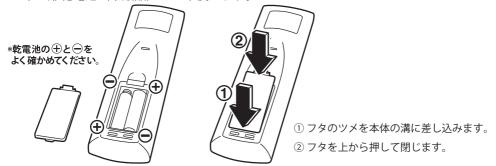
本体受光部

BDVP-C2106

30°　30°

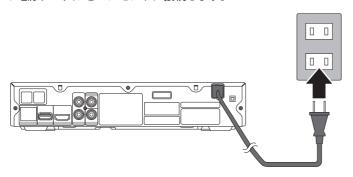
本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンでうまく操作できないことがあります。その場合は、受光部に光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。

電池の入れ方

下図を参考に、リモコンに乾電池を入れてください。

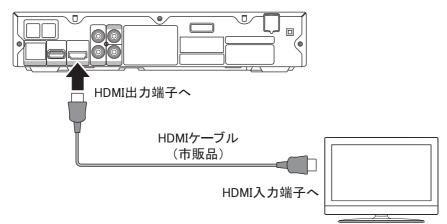
- 単 4 形乾電池（市販品）を 2 本使います。

* リモコン用単 4 形乾電池は同梱されておりません。別途ご用意ください。

接続

電源の接続

AC 電源ケーブルをコンセントに接続します。

テレビとの接続

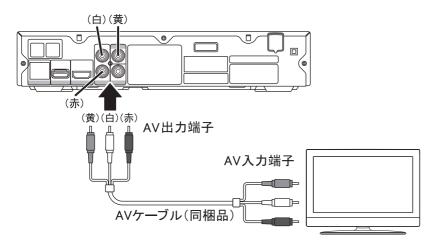
HDMI ケーブルで接続する

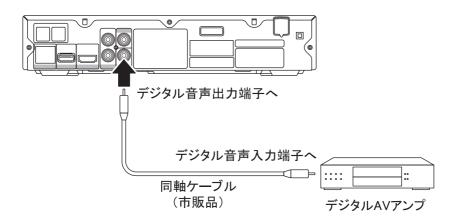
市販の HDMI ケーブルを使用して、本製品とテレビを接続します。

● **HDMI 出力端子の出力解像度について**

本製品の HDMI 出力端子は、1080p 60Hz までの解像度をサポートしています。

*HDMI 端子を使用してテレビなどと接続したときに、スピーカーから音が出力されなかったり音声にノイズが乗ってしまうことがあります。この場合には、「AV ケーブルで接続する」を参考に、アナログ音声出力端子（赤、白）を使用して接続してください。⇒（14 ページ）
HDMI 接続時のアナログ音声出力については、テレビ側での設定も必要となる場合があります。

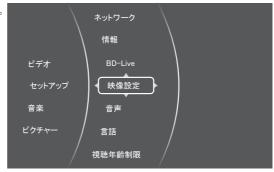
AV ケーブルで接続する

同梱の AV ケーブルを使用して、本製品のアナログ音声出力端子（赤、白）とテレビの音声入力端子（赤、白）を接続します。
同様に、本製品のアナログ映像出力端子（黄）とテレビのアナログ映像入力端子（黄）を接続します。

同軸ケーブルでデジタル AV アンプと接続する

市販のデジタル音声用同軸ケーブルを使用して、本製品の同軸デジタル音声出力端子とデジタル AV アンプの同軸デジタル音声入力端子を接続します。

システム設定

停止中に設定ボタンを押すと表示されます。

- ▲ / ▼ボタンでメニューを移動できます。
- ▶ボタンまたは決定ボタンで詳細メニューに移動できます。
- ◀ボタンで一つ前の画面に戻ります。

各設定項目を有効にするには、項目選択時に 決定 ボタンを押します。

BD-Live

BD-Live 接続設定

BD-Live によるインターネット接続を設定します。

● **制限アクセス**

挿入されたディスクが、有効なオンライン証明書のある BD-Live ウェブサイトのコンテンツをダウンロードするときのみアクセスを許可します。
誤って悪意のあるコンテンツをダウンロードしてしまう機会を低減できます。

● **無制限アクセス**

挿入されたディスクが、すべての BD-Live のインターネットサイトのコンテンツにアクセスするのを許可します。
正規に販売されているブルーレイディスクソフトは、悪意のあるコンテンツをダウンロードする危険性はありません。しかし､このオプションの選択時に､違法に作られたディスク､またはその疑いのあるディスクで BD-Live コンテンツをダウンロードした場合、本製品の動作に悪影響を及ぼすコンテンツがダウンロードされる恐れがあります。

● **アクセス禁止**

挿入されたディスクが、インターネットで BD-Live コンテンツにアクセスするのを禁止します。

BD-Live ストレージ（USB）

BD-Live ストレージの情報を表示します。保存先を選択し、BD-Live ストレージのデータをクリアします。

ストレージの消去

BD-Live ストレージ内のデータを削除します。

＊ BD-Live の詳細については 33 ページをご参照ください。

映像設定

テレビタイプ

NTSC 形式または PAL 形式から選択します。

* 国内で販売されているテレビのほとんどは NTSC 形式です。
PAL 形式対応のテレビ以外では、設定を "PAL" にしないでください。
誤った設定をすると、画面が正常に表示されません。

解像度

最適な画質にするため、テレビの解像度を最大値に設定します。

設定が不明な場合、自動を選択してください。お使いのテレビに最適な解像度を読み取ります。

アスペクト

下表を参考にして、お使いのテレビに適した画面の縦横比を選択します。

<table>
<tr><th rowspan="2">アスペクトの設定
再生する画像</th><th colspan="2">テレビ画面が長方形に近い
（16：9）比率の場合</th><th colspan="2">テレビ画面が正方形に近い
（4：3）比率の場合</th></tr>
<tr><th>16:9 ワイド</th><th>16:9 ピラーボックス</th><th>4:3 パンスキャン</th><th>4:3レターボックス</th></tr>
<tr><td>ワイド画面の映像</td><td rowspan="2">正しい比率で画面全体に表示されます。</td><td rowspan="2">エフェクト効果がある場合は一部の画像が表示されません。</td><td rowspan="2">左右部分が切り取られ、中央部分が表示されます。</td><td rowspan="2">正しい比率で表示されます。
画面上下に横帯が表示されます。</td></tr>
<tr><td>ワイド画面のハイビジョンテレビ番組</td></tr>
<tr><td>SD（4:3）テレビ番組</td><td rowspan="2">横長に伸びた形で画面全体に表示されます。</td><td rowspan="2">正しい比率で画面中央に表示されます。
画面両端に縦帯が表示されます。</td><td rowspan="2" colspan="2">エフェクト効果がある場合は一部の画像が表示されません。</td></tr>
<tr><td>クロップ処理の映画（4:3アスペクト比率に処理された映像）</td></tr>
</table>

- アスペクトの設定は、HDMI 出力およびアナログ映像出力の場合のみ有効です。また、解像度を 1080p、1080i、720p に設定した場合、4:3 パンスキャンおよび 4:3 レターボックスは利用できません。
- 4:3 パンスキャンおよび 4:3 レターボックスは、SD モード（解像度が 576p/480p または 576i/480i）のみで有効です。

フィルムモード

再生中の画像が 24 コマ／秒で作成されている場合、フィルムモードをオンに設定すると 1080p / 24Hz で出力します。

* フィルムモードは、解像度が 1080p に設定されている場合のみ有効です。お使いのテレビが 1080p / 24Hz モードに対応しているかご確認ください。

ディープカラー

色深度を設定します。

- **36Bit** ：36Bit に設定します。
- **30Bit** ：30Bit に設定します。
- **24Bit** ：24Bit に設定します。

音声

PCM ダウンサンプリング

SPDIF デジタルオーディオ出力に合わせてサンプリングレートを設定します。

- **オフ**
  ダウンサンプリングしません。
- **96kHz**
  96kHz 以上でサンプリングされた音声データを 96kHz でダウンサンプリングします。
- **48kHz**
  48kHz 以上でサンプリングされた音声データを 48kHz でダウンサンプリングします。

デジタル出力

接続されたオーディオ機器にあわせてデジタル出力の設定をします。

- **PCM ステレオ**
  HDMI と SPDIF を PCM フォーマットの２チャンネルでミックスします。
- **HD ビットストリーム**
  HDMI と SPDIF を経由した高品質のオリジナルのビットストリームです。
- **ビットストリーム**
  HDMI と SPDIF を経由した旧世代のオリジナルのビットストリームです。
- **ミックス**
  サラウンドサウンドを楽しみたいときに使います。
- **PCM5.1**
  5.1 チャンネル PCM と HDMI デジタル音声２チャンネル PCM の SPDIF をミックスします。
- **PCM7.1**
  7.1 チャンネル PCM と HDMI デジタル音声２チャンネル PCM の SPDIF をミックスします。

* スピーカーが２つしかない場合は、PCM ステレオを選択してください。

ダイナミックレンジ

ダイナミックレンジ制御により、音量の大きい部分と小さい部分の音量差を縮めます。

- **オン**
  すべてのコーデックに対して制御をおこないます。
- **オフ**
  制御をオフにします。
- **自動**
  すべてのコーデックに対して制御をおこないます。音声信号そのものに組み込まれたダイナミックレンジ制御を使用します。

* ダイナミックレンジ制御は、デジタル出力が PCM ステレオまたはミックスに設定されているときに有効です。

ステレオダウンミックス

- **オート**
  " ステレオ (LoRo) " または " サラウンド (LtRt) " を自動で切り替えます。
- **ステレオ (LoRo)**
  フロント音声だけを左右のスピーカーから出力します。
- **サラウンド (LtRt)**
  フロント音声にリア音声を足した音声を左右のスピーカーから出力します。

言語

画面表示

画面表示の言語を設定します。

メニュー

再生するディスクのメニューで使用する言語を設定します。

* ディスクによっては利用できない場合があります。

音声言語

再生するディスクの音声言語を設定します。

* ディスクによっては利用できない場合があります。

字幕言語

再生するディスクの字幕言語を設定します。

* ディスクによっては利用できない場合があります。

視聴年齢制限

お子様に見せたくないソフトの再生を制限する、視聴年齢制限機能を設定します。
このメニューを選択すると、操作に必要なパスワードを求められます。
4 桁の数字でパスワードを入力してください。

* 初期設定値は 6666 です。

制限の基準国

本製品をお使いになる国を設定します。（現在機能していません。）

視聴年齢の制限

視聴年齢制限機能を使用するかしないか選択します。

- **オン**　：視聴年齢制限機能を使用します。
- **オフ**　：視聴年齢制限機能を使用しません。

視聴年齢制限レベル

お子様に見せたくないソフトの再生を制限するレベルを設定します。

- **1[KidSafe]**：お子様でも視聴できるレベルです。
- **2[G]**：一般視聴者向けです。どの年齢層の方でも視聴できるレベルです。
- **3[PG]**：自動再生での視聴は保護者の判断が必要なレベルです。
- **4[PG-13]**：13 歳以下の視聴には不向きな内容を含むため、視聴が制限されるレベルです。
- **5[PG-R]**：視聴するには保護者の同意が必要なレベルです。
- **6[R]**：18 歳未満の方の視聴には保護者の制限が推奨されます。または保護者との同伴が求められるレベルです。
- **7[NC-17]**：18 歳未満の視聴を禁止しているレベルです。
- **8[Adult]**：成人のみ視聴できるレベルです。

視聴年齢制限パスワード

視聴年齢制限メニューの操作に必要なパスワードを変更します。
4 桁の数字で新しいパスワードを入力してください。

* 初期設定値は 6666 です。
* 新しく設定したパスワードを忘れてしまうと、視聴年齢制限の設定を変更できなくなってしまいますので、忘れないようにしてください。

その他

ディスク自動再生

ディスクを挿入したとき、自動的にディスクの読み込みを開始するかどうかを設定します。

- **オン**
  自動的にディスクの読み込みを開始します。
- **オフ**
  再生 ▶ ボタンまたは 決定 ボタンが押されてから、ディスクの読み込みを開始します。

タイムゾーン

お使いの地域の標準時を、リストから選択します。
日本国内でお使いの場合は、通常 "Osaka, Sapporo, Tokyo (GMT +09:00)" を選択してください。

スクリーンセーバー

画像再生を一時停止または停止しているときや、音楽を再生しているとき、何も操作せずここで設定した時間が経過すると、ビデオ出力を停止し、スクリーンセーバーモードに入ります。
接続しているテレビは映像信号を受信していない状態になります。

自動電源オフ

再生も操作もしていない状態が一定時間続くと、スタンバイ状態になるよう設定できます。
"30 分 "、"45 分 "、"60 分 " から選択します。
" オフ " を選択すると、スタンバイ状態になりません。

設定リセット

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。（視聴年齢制限は、初期化されません。）

1 " 設定リセット " を選択し、決定 ボタンを押します。

" 設定を初期化しますか " と表示されます。

2 もう一度 決定 ボタンを押します。

3 " 了解 " または " 取り消す " を選択し、決定 ボタンを押します。

設定を初期化するときは " 了解 " を選択します。
初期化しないときは " 取り消す " を選択します。

4 戻る ボタンを押して終了します。

ネットワーク

インターネットへの接続を設定します。また、接続状態をテストします。

有線

インターネットへの接続を設定します。

● IP 設定

■リンク状態

本製品にネットワークケーブルが接続されている場合に表示されます。

- **リンクアップ**
  ネットワークケーブルが接続されています。
- **リンクダウン**
  ネットワークケーブルが接続されていません。

■MAC アドレス

本製品の MAC アドレスを表示します。
MAC アドレスとは、個々のネットワーク機器を識別するための機器固有の情報です。

■IP モード

インターネットアクセス用のIPモードを設定します。

- **オフ**
  インターネットに接続しません。
- **マニュアル**
  手動で IP アドレスを設定します。

  ＊ “ダイナミック " を選択してもネットワークに接続できないときは、" マニュアル " を選択してください。

  マニュアルを選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリー DNS、セカンダリー DNS が入力できます。
  各項目には、インターネットサービスプロバイダーから指定されている値を入力します。
  各入力画面で数値を入力後、▲ / ▼ボタンで " 了解 " を選択し、決定ボタンを押すと、設定が有効になります。
  “取り消す " を選択し、決定ボタンを押すと、設定の変更をキャンセルして IP 設定画面に戻ります。
- **ダイナミック**
  自動的にネットワーク接続を設定します。
  通常はダイナミックを選択してください。

■IP アドレス

現在設定されている IP アドレスを表示します。
IP モードでマニュアルを選択すると、数字ボタンを使って入力できます。

■サブネットマスク

現在設定されているサブネットマスクを表示します。
IP モードでマニュアルを選択すると、数字ボタンを使って入力できます。

■ゲートウェイ

現在設定されているゲートウェイを表示します。
IP モードでマニュアルを選択すると、数字ボタンを使って入力できます。

■プライマリー DNS

現在設定されているプライマリー DNS を表示します。
IP モードでマニュアルを選択すると、数字ボタンを使って入力できます。

■セカンダリー DNS

現在設定されているセカンダリー DNS を表示します。
IP モードでマニュアルを選択すると、数字ボタンを使って入力できます。

ネットワークテスト

インターネットへの接続状態をテストします。
このテストが問題なく終了すれば、ネットワーク接続の設定は終了です。

情報

プログラムのバージョンや、メインボードの情報などを表示します。

ディスクの再生

BD / DVD の再生

再生可能ディスクについては「ディスクについて」をご参照ください。⇒（6 ページ）

1　電源ボタンを押して電源をオンにします。

2　開／閉ボタンを押してディスクを入れます。

ディスク自動再生が設定されている場合は、自動的に再生が始まります。

3　再生ボタンを押します。

メニュー画面が表示された場合は、▲ / ▼ボタンで項目を選択し、決定ボタンを押してください。

■巻戻し / 早送り

再生中に巻戻しボタンまたは早送りボタンを押すと、巻き戻し再生または早送り再生ができます。ボタンを押すごとに再生速度が次のように変わります。

2 倍　→　4 倍　→　8 倍　→　16 倍
↑　　　　　　　　　　　　　　↓
通常再生　←　128 倍　←　64 倍　←　32 倍

再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

■一時停止

再生中に一時停止ボタンを押すと、再生と一時停止を切り替えることができます。

■停止

再生中に停止ボタンを 1 回押すと予備停止状態になります。

続けてもう一度停止ボタンを押すと、完全停止状態になります。

※レジューム機能について

予備停止状態で再生ボタンを押すと、停止した場面から再生を再開します。
ディスクの種類や状態によっては、予備停止した場面を記憶せず、レジューム機能が働かない場合があります。

■画面表示

再生中に画面表示ボタンを押すと、再生情報が表示されます。

① タイトル番号およびチャプター番号が表示されます。

② 再生時間が表示されます。

③ リピート◯ボタンを押して、リピート再生の設定を切り替えます。

④ 再生状態が表示されます。

* その他さまざまな再生については、「リモコンについて」をご参照ください。⇒（9 ページ）

CD の再生

再生可能ディスクについては「ディスクについて」をご参照ください。⇒（6 ページ）

再生方法は BD / DVD の再生と同じです。BD / DVD の再生をご参照ください。⇒（23 ページ）

① トラック数が表示されます。

② 再生時間が表示されます。

③ ランダム◯ボタンを押して、ランダム再生のオン・オフを切り替えます。

④ リピート◯ボタンを押して、リピート再生の設定を切り替えます。

⑤ 再生状態が表示されます。

ファイルの再生

本製品では、ディスクまたは USB メモリーに保存されている動画、音楽、写真データを再生できます。
各データが保存されたディスクをセットするか、USB メモリーを USB ポートに挿入すると、保存されているデータに応じて " ビデオ "、" 音楽 "、" ピクチャー " のアイコンがメインメニューに表示されます。

対応ファイル形式

ファイル名およびファイル内の情報に、本製品が対応できない文字を使用すると、文字が正しく表示されないことがあります。
その場合は、半角英数字を使ってファイルを作りなおしてください。

● 動画データ

- **mpeg4 (mp4)**
- **wmv**
- **m4v**
- **mkv**

* サブタイトルのファイル名は、ビデオのファイル名で始める必要があります。
また、UTF8 または UTF16 でエンコードされている必要があります。
例えば、ビデオのファイル名が “file001.mkv" の場合、External サブタイトルのファイル名は、file001_01.srt や file001_eng.srt または file001_ger.sub などになります。

● 音楽データ

- **mp3**
- **mp4**
- **wma**

● 写真データ

- **jpeg**
- **png**

対応ディスクおよび USB メモリー

● 対応ディスク

UDF または ISO9660 フォーマット（ファイナライズが必要）で記録された CD-R/RW、DVD ± R/RW が再生できます。

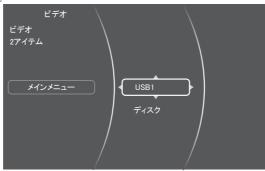
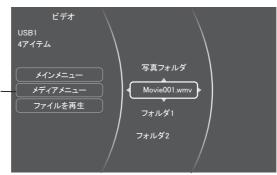
● 対応 USB メモリー

FAT/FAT32 パーティションでフォーマットされた USB メモリーに対応しています。

動画データの再生

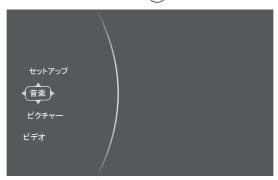
1 メインメニューで " ビデオ " を選択し、(決定) ボタンを押します。

2 メディアを選択し、(決定) ボタンを押します。

動画データが記録されたメディアが 1 個だけのときは、この画面は表示されず、手順 3 の画面になります。

3 ファイルを選択し、(決定) ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。

* メディアメニューは動画データが記録されたメディアが 1 個だけのときは表示 されません。

音楽データの再生

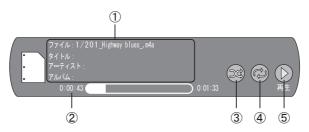
1 メインメニューで " 音楽 " を選択し、決定ボタンを押します。

2 メディアを選択し、決定ボタンを押します。

音楽データが記録されたメディアが 1 個だけのときは、この画面は表示されず、手順 3 の画面になります。

3 ファイルを選択し、決定ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。

* メディアメニューは音楽データが記録されたメディアが 1 個だけのときは表示 されません。

ファイルの再生（つづき）

① ファイル数やファイル名などが表示されます。

② 再生時間が表示されます。

③ ランダム ◯ ボタンを押して、ランダム再生のオン・オフを切り替えます。

④ リピート ◯ ボタンを押して、リピート再生の設定を切り替えます。

⑤ 再生状態が表示されます。

写真データの再生

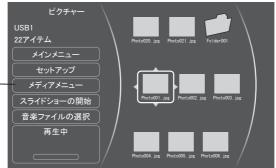
1 メインメニューで " ピクチャー " を選択し、決定 ボタンを押します。

2 メディアを選択し、決定 ボタンを押します。

写真データが記録されたメディアが 1 個だけのときは、この画面は表示されず、手順 3 の画面になります。

3 ファイルを選択し、決定 ボタンを押します。

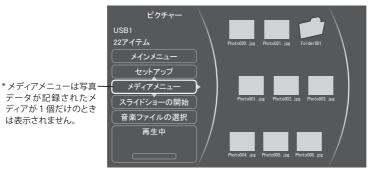
選択したファイルが再生されます。

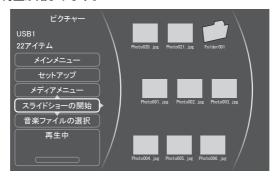
◀ / ▶ ボタンで次の写真または前の写真を表示できます。

* メディアメニューは写真データが記録されたメディアが 1 個だけのときは表示 されません。

● スライドショー再生

写真データをスライドショー再生できます。

1 ファイルまたはフォルダ選択画面で◀ボタンを押します。

ピクチャーメニューに戻ります。

2 ▲ / ▼ボタンで " スライドショーの開始 " を選択し、(決定) ボタンを押します。

スライドショー再生が始まります。

再生情報表示

スライドショー再生中に画面表示ボタンを押すと、スライドショーの再生情報が表示されます。

① 再生中のファイル名が表示されます。
② リピートボタンを押してリピート再生の設定を切り替えます。
③ 写真の切り替え時間が表示されます。
　メニューボタンを押すと、写真の切り替え時間を変更できます。

スライドショーメニュー

スライドショー再生中にメニューボタンを押すと、スライドショーメニューが表示されます。

エフェクト

画面の切り替え効果を "無し"、"水平スクロール"、"フェード"、"シャッター" から選択できます。

1 スライドショーメニューで " エフェクト " を選択し、(決定) ボタンを押します。

2 ▲ / ▼ボタンでエフェクトを選択し、(決定) ボタンを押します。

3 メニューボタンを押して設定を終了します。

スライド間隔

写真の切り替え時間を " ディレイなし "、"1 秒 "、"2 秒 "、"5 秒 "、"30 秒 "、"15 秒 "、"10 秒 " から選択できます。

1 スライドショーメニューで " スライド間隔 " を選択し、(決定) ボタンを押します。

2 ▲ / ▼ボタンでスライド間隔を選択し、(決定) ボタンを押します。

3 メニューボタンを押して設定を終了します。

BD-Live 操作

BD-Live について

BD-Live とは、ブルーレイディスクソフトがネットワーク回線を使ってインターネットに接続する機能です。

ブルーレイディスクソフトには、BD-Live を使ってインターネット上のウェブサイトから各種のデータをダウンロードしたり、USB メモリーにデータを保存する機能を備えたものがあります。この機能により以下のようなことが可能になります。

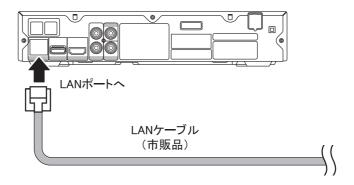
- 未公開映画の予告編のダウンロード
- 俳優や監督のインタビュー映像
- 複数人でのゲームやチャット

BD-Live を利用するには、本製品がインターネットアクセス用に設定されており、また USB メモリーが挿入されている必要があります。

BD-Live 用の USB メモリーは、FAT32 でフォーマットされている必要があります。

BD-Live の準備

ネットワークケーブルを接続する

インターネットに接続しているネットワークケーブルを、本体背面の LAN ポートに接続します。

BD-Live 接続を設定する

1 メインメニューで " セットアップ " を選択し、決定 ボタンを押します。

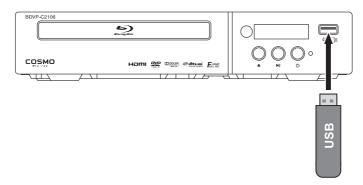
2 ▲ / ▼ボタンで "BD-Live" を選択し、決定 ボタンを押します。

3 ▲ / ▼ボタンで "BD-Live 接続設定 " を選択し、決定 ボタンを押します。

4 ▲ / ▼ボタンで " 制限アクセス " または " 無制限アクセス " を選択し、決定 ボタンを押します。

＊通常は " 制限アクセス " を選択してください。

BD-Live ストレージを準備する

1 本体前面の USB ポートに USB メモリーを挿入します。

- BD-Live を有効にするには、最低 1GB 以上の空き容量のある USB メモリーが必要です。
- ボーナスビューを有効にするには、最低 256MB 以上の空き容量のある USB メモリーが必要です。
- BD-Live ストレージに使用する USB メモリーは「各部の名称ー本体前面」の⑦ USB ポートまたは「各部の名称ー本体背面」の ⑥ USB ポートに挿入してください。⇒（8 ページ）

2 メインメニューで " セットアップ " を選択し、決定 ボタンを押します。

3 ▲ / ▼ボタンで "BD-Live" を選択し、決定 ボタンを押します。

4 ▲ / ▼ボタンで "BD-Live ストレージ (USB)" を選択し、決定 ボタンを押します。

5 ▲ / ▼ボタンで "USB1（xx.xMBFree）" を選択し、決定 ボタンを押します。

6 ◀ / ▶ボタンで " 了解 " を選択し、決定 ボタンを押します。

* 挿入した USB メモリーに 100MB 以上の空き容量がない場合は、"BD-Live" の " ストレージの消去 " を実行して、空き容量を増やす必要があります。

ネットワーク接続を設定する

「システム設定」の「ネットワーク」を参照して、ネットワーク接続を設定します。⇒（21 ページ）
ネットワーク接続を設定すると、自動的に接続状態のテストが実行されます。
このテストが問題なく終了すれば、ネットワーク接続の設定は終了です。

BD-Live を使ったインターネットアクセス

1 BD-Live アクセス機能を持ったブルーレイディスクソフトを挿入します。

2 ディスクのメニューから BD-Live のオプションを選択します。

3 ディスクやウェブサイトの操作指示に従って、コンテンツをダウンロードします。

- ダウンロードしたコンテンツは、BD-Live ストレージに自動作成される専用フォルダ内に保存されます。
  再生、削除などの編集は BD-Live コンテンツ内のメニューから行います。
- ダウンロードしたコンテンツは再生するか、削除するか選択できます。

補足

- BD-Live ストレージとして利用できるのは、本製品の USB ポートに挿入された USB メモリーのみです。
- BD-Live のコンテンツは、一定期間を経過すると閲覧の期限が切れたり、再生できなくなる場合があります。
- BD-Live ストレージの空き容量を確保するため、定期的に BD-Live ストレージ内のコンテンツを手動で削除する必要があります。⇒（15 ページ）

困ったときは

故障かな？と思ったときは、下記項目をもう一度チェックしてください。
また、一度製品本体の電源をオフにしてから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、弊社サポートセンターへご連絡ください。
（各項目の詳細は、本説明書の対応する項をお読みください。）

映像や音が出ない

- 電源がオンになっていますか？
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
- 電源コードが破損していませんか？

映像は出るが音が出ない

- 各ケーブルがしっかりと接続されていますか？
- 音声設定は正しいですか？
- 音声がミュートになっていませんか？

音は出るが映像が出ない

- 各ケーブルがしっかりと接続されていますか？
- 映像設定は正しいですか？

画質または音質が悪い

- 音声設定は正しいですか？
- ディスクに変形、汚れ、傷等がありませんか？

リモコンが作動しない

- 電源がオンになっていますか？
- リモコンの乾電池は正常ですか？
- 本体の受光部がふさがれていませんか？
- 本体の受光部の前に障害物はありませんか？

プレーヤーが作動しない

- 電源をオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  1 分ほど経過したら電源をオンにしてください。

ディスクが再生できない

- ディスクトレイにディスクが入っていますか？
- ディスクの上下が逆になっていませんか？
- ディスクに変形、汚れ、傷等がありませんか？

一般仕様

対応メディア	BD-R/RE/R DL/RE DL、DVD±R/±RW/±R DL、CD-R/RW、USB メモリー
対応フォーマット	BD-MV、BD-AV、DVD-Video、DVD-VR/CPRM、CD-DA、Xvid、WMV/ASF、MKV、MP4、MP3、WMA、JPEG
信号方式	NTSC/PAL
出力端子	HDMI 出力端子× 1、同軸デジタル音声出力端子 ×1、アナログ音声出力端子（左右）× 1、アナログ映像出力端子 ×1
入力端子	USB ポート× 2、LAN ポート× 1
HDMI 出力	480i、480p、720p、1080i、1080p
電源	AC100V 50/60Hz 家庭用電源
最大消費電力	20W
使用温度範囲	5 〜 35℃（結露無きこと）
本体寸法	約 260（幅）× 240（奥行）× 60（高さ）mm
本体重量	約 1.6kg
付属品	AV ケーブル× 1、リモコン× 1、取扱説明書、保証書

販売元：**株式会社 ティー・エム・ワイ**

サポートセンター
お客様相談窓口： **ナビダイヤル®**
0570-064-440

BDVP-C2106-01